

－ 基本目標1に係るもの－

効果検証の目的

地方創生関連交付金の利活用方策・実施状況に関する客観的指標（重要業績評価指標）について、**その達成状況を学識経験者等の第三者の意見を求めて検証することにより、評価の透明性、客観性及び公平性を確保**することを目的とする。（地方創生拠点整備交付金制度要綱第7、第8及び地方創生推進交付金制度要綱第11、第12に規定）

効果検証体制

産学金労言住の各分野18名で構成する「聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で効果検証すると共に、議会においても交付金事業の効果検証を行い、必要に応じて事業内容の見直しを検討する。効果検証結果（本資料及び主な意見）については、町ホームページにて公表。

効果検証対象事業

地方創生推進交付金（H29当初予算）

【事業名称】 **新発田DMO活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくり**

【事業目的・概要】

平成28年10月に締結した「**新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏連携協定**」に基づき、**連携事業の一つである広域観光の推進を図る**ことを目的に、圏域内で長期滞在型の観光周遊を推進するため、新発田市、胎内市、聖籠町が連携し、それぞれの持つ観光資源、アクティビティツール、食・食材などを有機的に繋ぐことで魅力的な広域観光圏づくりを進める。

地方創生推進交付金 ～ 新発田DMO活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくり ～ 町負担分総事業費400,000円（うち交付金充当額：200,000円）

事業内容

「新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏連携協定」に基づき、連携事業の一つである広域観光の推進を図ることを目的に、**首都圏、関西圏、海外に向けた観光PRや誘客活動の強化**を図る。

また、圏域を回遊する観光ルートの策定や観光客への地域産品の販売促進を強化し、圏域への誘客の増加を図る。

町は毎年度、新発田市（中心市）に対し、事業負担金400,000円（うち交付金充当額：200,000円）を支払う。

具体的な事業内容としては、**広域観光PR誘客促進、受入環境整備・地域回遊促進、新発田市誘客促進モデル事業、インセンティブ旅行推進事業等**を実施する。



事業の進捗状況

H28.10月 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏協定締結

H29.3月 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョンにおいて、広域観光圏づくり推進事業を連携事業の一つに位置づけ

H29.4月 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏協定に基づき、連携事業開始

H29.4月 ゴルフ三昧プラン作成（町内で関係する施設：新潟サンライズゴルフコース・紫雲ゴルフ倶楽部・ホテルざぶ〜ん）

H29.7～11月 韓国・台湾向けの「ゴルフ三昧ツアー」を実施（町内で関係する施設（実績）：紫雲ゴルフ倶楽部）

H30.2月 旅行プランについて台湾旅行エージェント招聘（ホテルざぶ〜ん・さくらんぼ・ぶどうのプレゼン）

H30.3月 LCCの機内誌へ阿賀北周遊観光PR記事（さくらんぼ・ぶどう）を掲載

H30.7～8月 新たな誘客のため香港・シンガポールへのトップセールス

H31.1～3月 広域観光ルートのPR動画の作成

H31.2～3月 阿賀北9市町村連携による国内大手旅行専門誌等によるPRの実施



地方創生関連交付金事業の効果検証

地方創生推進交付金 ～ 新発田DMO活動に基づく広域観光圏創出と輸出促進による稼げる地域づくり ～
 町負担分総事業費400,000円（うち交付金充当額：200,000円）

K P I（重要業績評価指標）達成状況

KPI	事業開始前		1年目(H29)	2年目(H30)	3年目(H31)	4年目(H32)	5年目(H33)
新発田市DMOがプロデュース、コーディネートを行い、ECサイトで販売する管内の特産品等の取扱品目数	58品目	目標値	65品目	70品目	75品目	80品目	85品目
		実績値	66品目	68品目	—	—	—
管内農産物等輸出金額	4,000千円	目標値	5,700千円	11,700千円	20,700千円	30,700千円	45,700千円
		実績値	6,250千円	29,303千円	—	—	—
管内インバウンド客宿泊者数	5,417人	目標値	12,500人	15,000人	17,500人	20,000人	22,500人
		実績値	13,740人	12,870人	—	—	—

事業の効果、課題

韓国ゴルフ三昧プランが非常に好評だった。H30年度の実績は90人で、H29年度の約2倍となっている。一方で、町内の施設を利用する参加者はいなかった。

PR動画を作成したことで、聖籠町を知ってもらえる手段が増えた。今後、動画を幅広く使用することで町のPRを行っていく。

今後の事業展開方針

定住自立圏構想に伴う連携事業である広域観光ルートの設定については、**町の観光資源である果樹のPRを主軸とした旬の味覚を提供できる観光ルートを念頭に、引き続き新発田市・胎内市と検討を進める。**

この部分が効果検証対象